

大崎議第 588号  
令和3年6月10日

大崎市長 伊藤 康志 様

大崎市議会議長 相澤 孝弘

### 新型コロナウイルス感染症対策に関する第五次要望書

新型コロナウイルス感染症が依然として終息の兆しが見えず、市民生活や経済活動への影響が深刻化しています。

このような中、本市においても多くの市民が期待する新型コロナウイルスに対するワクチン接種が3月から順次開始され、市民が安心して接種できる体制の構築に鋭意取り組まれていることに改めて感謝を申し上げます。

ワクチン接種については、国の方針により、医療従事者、高齢者、基礎疾患のある方、高齢者施設等の従事者と優先順位が示されておりますが、今後市内の状況も踏まえ独自の優先順位を考慮し接種を進める場合には、以下のことに配慮いただくよう要望するものであります。

#### 記

- 1 市民が安全・安心な生活を送るためには、コロナウイルス感染による社会生活への重大な影響を考慮し理解し合うことが、働く世代を守り、高齢者や子ども達を守ることにもつながります。

休業や医療崩壊などのリスクを減らすためにも、利用者と従事者が密になる機会が多く、感染拡大の恐れがある児童福祉施設、学校教育施設、高齢者福祉施設等の従事者を優先接種の対象に含めること。

- 2 ワクチン接種に対する市民の関心は日増しに高まっています。市民への情報提供はこれまでも様々な媒体を活用し行われていますが、接種体制や方針を更新し次第、さらに迅速かつきめ細やかな情報発信を行い、市民との情報共有により、ワクチン接種に対する市民の理解向上と協力が得られるよう努めること。